



# 天城太郎杉と湯ヶ島しゃくなげウォーク

## 2026.05.17 8km+α

### コースの概要

道の駅「天城越え」でトイレと準備体操を済ませたらウォークを開始します。踊子歩道を進み、本谷川に架かる橋を渡って右折し、滑沢溪谷沿いの遊歩道へ入ります。

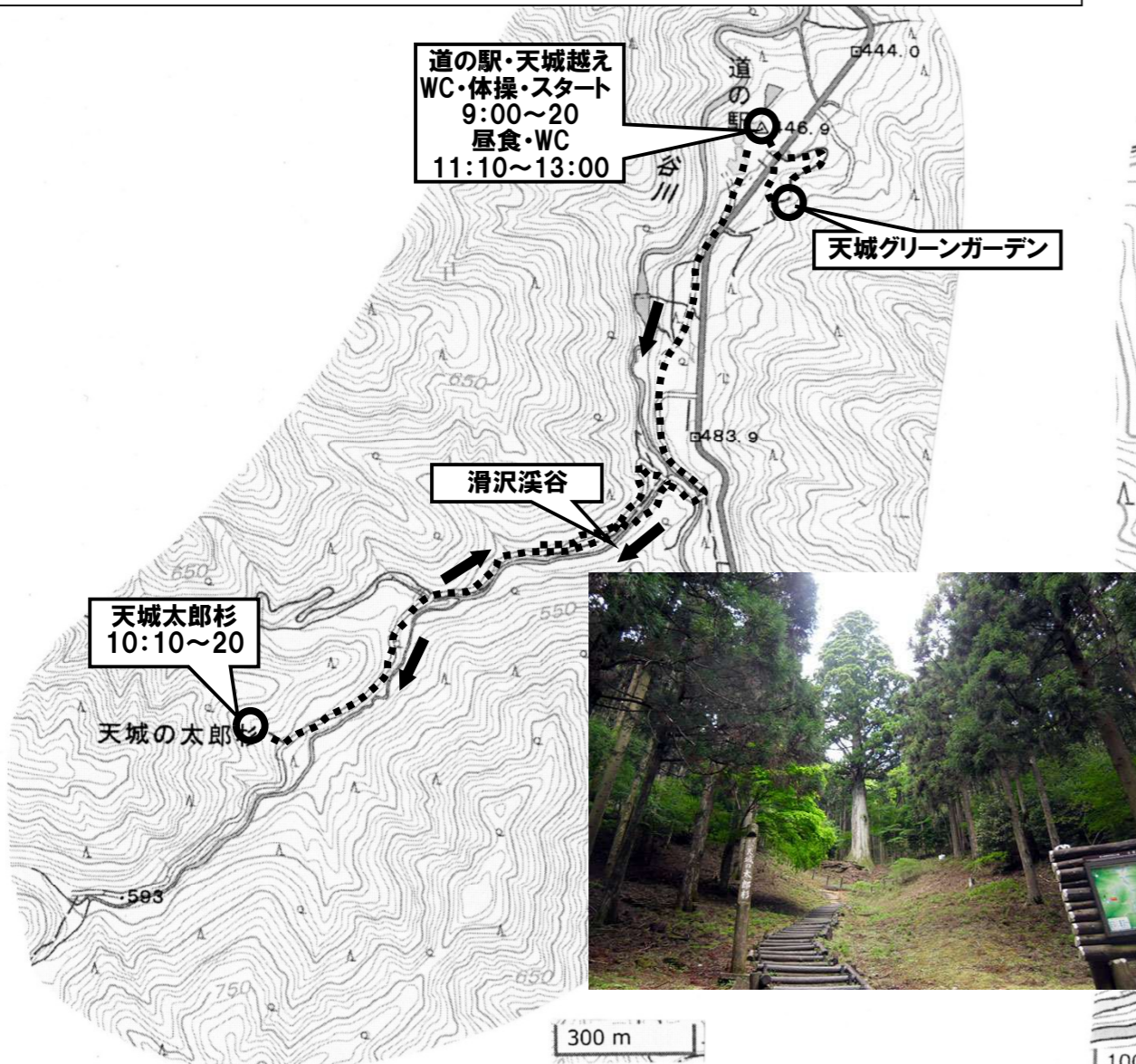
足に不安のある方は、幅の広い太郎杉歩道を歩いてください。太郎杉までは行かず、途中で景色を楽しみながら時間を過ごしていただくこともできます(滑沢溪谷入口から太郎杉までは約1kmの緩やかな上りです)。

復路は同じ道に戻り、広い太郎杉歩道を通って帰ります。昼食はスタート地点と同じ、道の駅「天城越え」です。昼食後は天城グリーンガーデンでしゃくなげを眺めながら、自由散策をお楽しみください。

午後はバスで天城会館へ移動し、午後のウォークを開始します。歩き始めてすぐ国道414号を渡ると、右手に「なまこ壁」の家が見えます。作家・井上靖の母の実家で、「上(かみ)の家(かみのいえ)」と呼ばれています(高い位置にあったことが由来)。

再び国道を渡り、左側の細い下り道へ進むと「湯道」と呼ばれる散策路に入ります。白壁荘を眺めながら県道を左折し、登録有形文化財の宿「おちあいろう」を過ぎてさらに左折すると、二つの橋が現れます。猫越(ねっこ)川に架かる「女橋」と、本谷(ほんたに)川に架かる「男橋」です。ここは二つの川が合流して狩野川となる場所で、男女が巡り会うことになぞらえて「出会い橋」と呼ばれています。橋の合流点にはハートのモニュメントがあり、人気の写真スポットです。

その後は国道414号沿いを歩き、ゴールの天城会館へ向かいます。



### 参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

### 緊急時連絡

松井 隆子 090-9910-2192  
増田 春恵 090-4119-3056

### コース

**往路** 富士宮駅南口 == 新富士IC == 長泉沼津IC == 道の駅天城越え (WC・体操)  
7:30 9:00~20

**ウォーク** 道の駅天城越え(スタート) ~ 滑沢溪谷 ~ 天城太郎杉 ~ 道の駅天城越え  
9:20 10:10~20 11:10~13:00  
(昼食・天城グリーンガーデン(しゃくなげ)散策・WC) == 天城会館 ~ 湯道 ~ 出会い橋 ~  
13:15

天城会館(ゴール・WC)  
14:15~30

**復路** 天城会館 == 伊豆村の駅(WC) == 長泉沼津IC == 新富士IC == 富士宮駅南口  
14:30 15:20~40 16:40



### 次回申込 (朝・集合場所で)

#### 遠州三山と掛川城ゆりウォーク

- ☆期日 6月14日(日)
- ☆集合 富士宮駅南口 7:30
- ☆参加費 5,000円  
弁当(からあげ弁当)希望者 +650円
- ☆切 6月8日(月)

### 太郎杉

伊豆市天城山にそびえる、樹齢450年以上の巨木。この壮大な杉は、高さ53m、幹周り9.73m、根周り13.6mと、圧倒的なスケールを誇る。静岡県指定の天然記念物として、訪れる人々にその雄大さと歴史を伝え続けている。

### 湯道

湯道とは伊豆市湯ヶ島にある小道で、かつて河原の共同湯に通うために使っていた小道を、里の人達が「湯道」と呼ぶようになり、名前をそのままに散策路として整備された道である。この場所は、幼い頃この地で暮らしていた作家 井上靖の「しろばんば」の舞台になった場所や、川端康成が「伊豆の踊子」を執筆した場所でもある。苔むした小道を歩いていると、井上靖をはじめとする文人墨客たちもこの場所を歩き、執筆の創作意欲を高めたり、心を休めていたのかな?と想像が膨らむ。